



# SMILE

21世紀の  
ふるさとづくり



# スマイル通信

# 県政報告

2011.1 No.20

- ◆ 福田富一知事との新春対談
- ◆ 三森県議の目指す地域づくり（マンガ）
- ◆ 高瀬トンネル（仮称）の進捗について
- ◆ 講演会のお知らせ



福田富一知事と日本一のとちぎづくりを誓う三森県議

## 福田知事とともに元気度日本一の 地域づくりを目指します

三森 文徳

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

旧年中は地域の皆様に多方面でのご支援をいただき誠にありがとうございました。心より御礼申し上げます。

私は、穏やかな新年を過ごしながら心に誓ったことがあります。それは、「国や景気の動向に右往左往しない地域を創ることが県議としての私の使命であり、そのためには昼夜をいとわず自分を磨き、地域の皆様の期待に応えたい」ということでした。

同時に、県政の舵取りを担う福田富一知事が掲げる「元気度日本一のとちぎづくり」を精一杯支えて行く決意も新たにいたしました。

幸い、県政の予算や政策の最前線で仕事をする立場を与えていただいておりますので、まずは、私の住むこの地域の元気度を栃木県で一番にするために、最大限の努力をしてまいります。

地域の皆様の心のスイッチをオンにする「人活宣言」に基づき、今年も皆様とともに歩んでまいりますので、今年一年のご指導ご支援を心から申し上げ新年のごあいさつといたします。

後援会住所：那須烏山市中央2-12-26

TEL : 0287-83-1258 / FAX : 0287-83-1439

E-mail : mimori.huminori@sea.plala.or.jp

ご意見・ご要望をお寄せください

# 特集 福田知事との新春対談



難が盛んに報道されていました。

知事 国は今回の経済対策の中で、緊急雇用対策に関する基金の積み増しを行いました。短期間の雇用は改善するものの、長期的な雇用対策は依然厳しいままです。まず、国はしっかりとした経済対策を行い、企業の雇用意欲を上げていかなければならぬと思います。

県議 まったくその通りです。国は失業者の短期的な雇用にばかり目が行っていて、本来の雇用対策は全くと言つていいほど無策だと思います。私は、今こそ中小企業対策に思い切った予算を付け、生まれた土地で仕事ができる国にしなければならないと思っています。

知事 それも大切だと思いますが、

若い人がリスクに挑戦する気持ちを持つてもらうことも大切だと思います。景気の悪さもあって、若者の安定志向が強まっていると思います。

県議 あけましておめでとうござります。さつそくですが今年の知事の抱負をお聞かせください。

知事 今年は財政健全化を目指す未来開拓プログラムの2年目になりますし、県の今後の5年間を方向づける次期総合計画がスタートします。財政状況は依然厳しいですが、元気度日本一を目指して気合いを入れて県政運営を行います。

県議 元気度日本一を目指すということですが、年末から新卒者の就職

きますが、頑張っている県内中堅、中小企業のPRにも力を入れたいと

思います。

県議 栃木県は全国9位の農業県ですが、農業における雇用や後継者対策については知事はどういうお考えですか。

知事 まず学校教育の中でもっと農業に触れる機会を増やすべきだと思います。

県議 体験学習の充実ですね。

知事 それと、意欲のある農業者をしっかりと支援し、農業の魅力を若者に知つていただくことが重要だと思います。更に、首都圏に近いという本県の優位性をいかし、競争力のある農業を目指したいと思います。

県議 首都圏に近いという面で、今年3月には北関東横断道路が全線開通します。このことにより、農業はもとより、県内経済に大いにプラスになると期待していますが、私の住む南那須地域はかえつて取り残されてしまうのではないかという不安があり、今後県内の地域間格差が拡大してしまうのではないかと心配しています。

知事 県は県内各地から県都へ60分で移動可能な「県土60分構想」を掲げ、道路等の整備を行ってきましたが、来年から「ひとにやさしい県土60分」構想をつくり、自動車ばかり

関の充実による県土の均衡ある発展を目指そうと考えています。

県議 しかし、もともと公共的な交

通手段が希薄な地域では、自家用車での移動に頼らざるを得ない事情があり、依然として道路の整備が必要だと思っています。

知事 もちろん道路の整備を怠ろうとするのではなく、地域にあつた交通弱者対策を行おうと思っています。

県議 よろしくお願ひします。最後に、私は少子高齢化が進む私たちの地域では、人を活かす戦略が大切だと考えています。今回私は「人活宣言」

を発し、地域の人の持つ様々な魅力を引き出しつなぐことを県議としての活動目標に据えたいと思っていますが、知事は今後の地域おこしについてどのようなビジョンをおもちですか。

知事 昨年から食の回廊づくりに取り組んでいて、県議の地域でも「八溝そば街道」に取り組んでもらっています。私は、県内一律でなく、地域の個性にあつた取組を県が精いっぱい支援できる仕組みづくりをこれから

の課題としていきます。元気度日本一を目指すうえでも県内市町がより一層輝くことが大切だと思っています。

県議 ありがとうございました。

# 三森ふみのりの目標す地域づくり

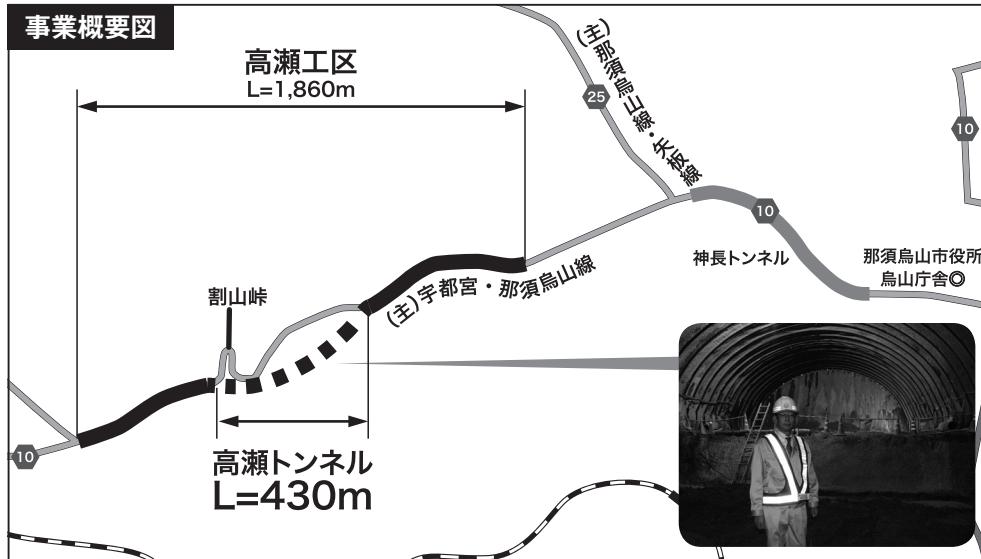
## 人活宣言

地域の皆様の  
心のスイッチ  
をオンにする

これから時代は、競争原理に基づいた経済優先主義から、地域の人たちが周りの人たちの良さを認め合い、一人一人の持つ知識や経験、感性といったものを活かしあう地域づくりが求められていると思います。

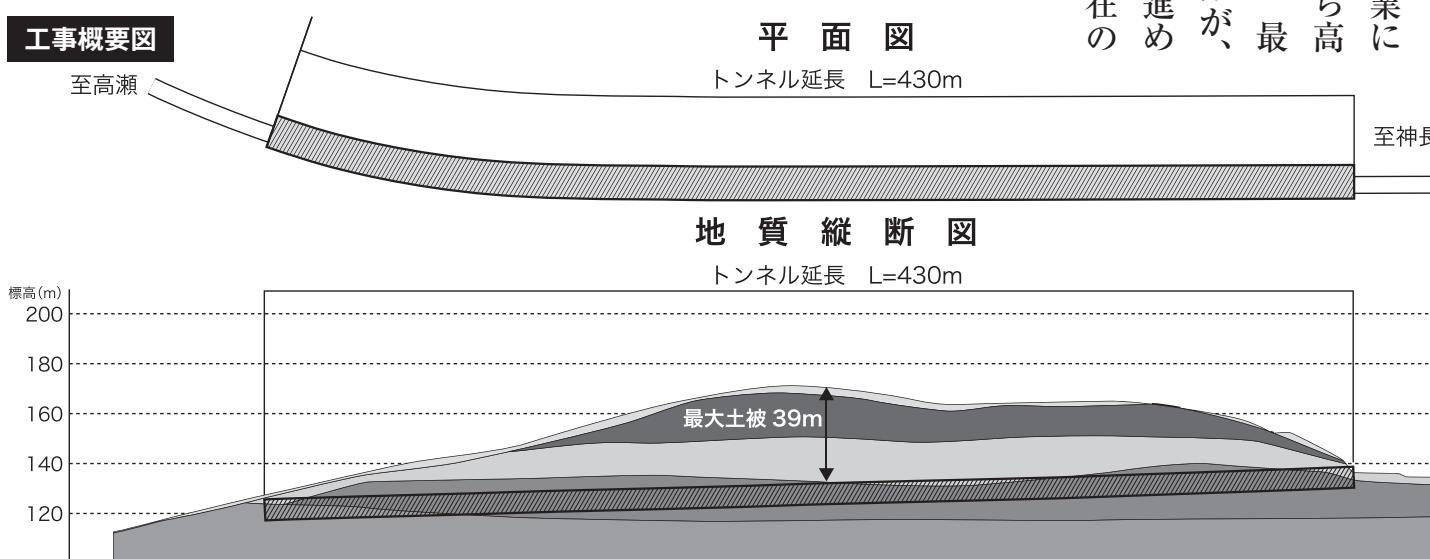


# 高瀬トンネル(仮称)の進み具合を ご報告します



工事概要 ●工期：平成21年6月～平成24年9月末 ●工事費：26億6千万円  
●施工：戸田建設・松岡建設・松本工務店JV

おかげさまで290m掘り進みました。今年夏には貫通予定です。  
来年秋までの全線完成を目指します。



皆様明けましておめでとうございます。昨年の12月26日の総会において後援会長に就任いたしました。

役員や県議の方々より後援会長就任の要請を頂きました折は、後援会役員といった経験も少ない私にこのような重責が務まるだらうかと大変悩みました。

三森県議とは若い頃から親交を深め実行力ある県議の素晴らしい人柄もわかつっていましたが、私が栃木県商工会連合会の会長職に就任し、県議の県での活躍や、高い評価に接し、あらためて県はもちろん地域にとって無くてはならない人だと確信し、微力ですが後援会長をお受けすることにしました。

県議は「商工会を支援する県議会議員の会」の事務局長を務め、県内の中小企業や小規模事業者の振興と育成に心血を注いでいます。私も同志の一人として、皆様の絶大なるご支援のもと三森県議を精一杯サポートする覚悟でございます。後援会並びにご縁のある皆様の更なるご協力を切にお願いして新年並びに就任のご挨拶といたします。

県道宇都宮烏山線の最後の難所であった高瀬工区のトンネル工事が順調に進行しています。地域の皆様の長年の念願であった当工事は、地域の熱意と大谷市長と三森県議の連携により、

平成20年に国庫補助事業に採択され、神長地区から高瀬地区の約1.8kmのうち、最後の工事であるトンネルが、今、24時間体制で掘り進められていますので、現在の状況を報告いたします。



後援会長  
中村 彰太郎

ご挨拶

## 参議院議員

2/5 土 三原じゅん子さんがやってきます！

- ・時間：午後1:00～1:45、場所：那須烏山市 烏山公民館
- ・時間：午後2:00～3:00、場所：那珂川町 あじさいホール

詳しくは後援会までお問い合わせください。TEL: 0287-83-1258

